

令和3年度 決算報告書

国立大学法人 弘前大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,163	10,365	202	(注1)
うち補正予算による追加	—	—	—	
施設整備費補助金	1,317	1,315	△2	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	937	2,176	1,239	(注2)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	31	31	—	
自己収入	26,800	27,869	1,069	
授業料、入学金及び検定料収入	3,782	3,416	△366	(注3)
附属病院収入	22,747	24,122	1,375	(注4)
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	271	331	60	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	3,304	3,948	644	(注6)
引当金取崩	162	177	15	
長期借入金収入	4,776	4,757	△19	
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	499	777	278	(注7)
計	47,989	51,415	3,426	
支出				
業務費	36,769	37,159	390	
教育研究経費	15,148	15,055	△93	(注8)
診療経費	21,621	22,104	483	(注9)
施設整備費	6,124	6,103	△21	
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	589	1,787	1,198	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	3,304	2,653	△651	(注11)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	1,203	1,157	△46	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	—	—	—	
計	47,989	48,859	870	
収入－支出	—	2,556	2,556	

○予算と決算の差異について

- (注 1) 運営費交付金については、退職手当及び年俸制導入促進費に追加配分があったことや、前年度からの繰越額を使用したことに伴い、予算額に比して決算額が202百万円多額となっています。
- (注 2) 補助金等収入については、コロナウイルス感染症対策に係る補助金の増や、地方公共団体等からの補助金の受入額が見込みよりも増となったことにより、予算額に比して決算額が1,239百万円多額となっています。
また、補助金等収入には授業料等減免費交付金384百万円が含まれており、本補助金は授業料等免除に使用しております。
- (注 3) 授業料、入学金及び検定料収入については、前受授業料の中止に伴う授業料収入の減及び入学金免除申請による徴収猶予者の増に伴う入学金収入の減により、予算額に比して決算額が366百万円少額となっています。
- (注 4) 附属病院収入については、高額薬剤及び材料の使用増に伴う診療単価の増や入院患者の増により、予算額に比して決算額が1,375百万円多額となっています。
- (注 5) 雑収入については、当初予定していなかった保険金収入や、医療機器の処分収入により、予算額に比して決算額が60百万円多額となっています。
- (注 6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、共同研究契約の増及び寄附金の獲得に努めたことなどにより、予算額に比して決算額が644百万円多額となっています。
- (注 7) 目的積立金取崩については、前年度執行予定額の繰り延べによる増や令和3年度に新たに承認された目的積立金を活用したことにより、予算額に比して決算額が278百万円多額となっています。
- (注 8) 業務費（教育研究経費）については、教員採用の遅れや途中退職による教員人件費の減により、予算額に比して決算額が93百万円少額となっています。
- (注 9) 業務費（診療経費）については、高額薬剤及び材料の使用増や医療設備整備・維持費の増により、予算額に比して決算額が483百万円多額となっています。
- (注 10) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,198百万円多額となっています。
- (注 11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、寄附金による支出が見込みより減となったため、予算額に比して決算額が651百万円少額となっています。